

新東名高速道路

（仮称）新磐田スマートIC の設置に向けて②

ラウンドアバウト導入が決定しました



第 2 回 新東名磐田スマートIC 地区協議会では、新磐田スマートIC※に、信号機のない環状交差点「ラウンドアバウト」を導入する方針を決め、高速道路区域内でのラウンドアバウト導入は全国初となる予定である。

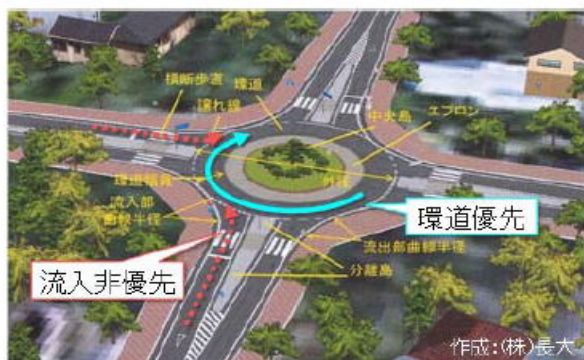
導入箇所は、下り線側 丁字路交差点を環状交差点に変更するものです。**裏面参照：ラウンドアバウト詳細平面図**

※スマートICとは…高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアなどから乗り降りできるように設置されたETC専用のインターチェンジです。

写真の説明…平成 25 年 12 月 11 日開催「第 2 回 新東名磐田スマートIC 地区協議会」での様子。



ラウンドアバウトとは・・・



- 交差点の中央に円形地帯（中央島）を設け、車が交差点内を時計回りの**一方通行**で走行する仕組み。
- 中央島の環状道路を走る車が優先され、車は左折して目的の道路に流失する。**環状道路を走行する車が優先され、かつ信号機が不要な交差点制御**となる。

ラウンドアバウトの標準的なイメージ
ラウンドアバウト検討委員会資料(国土交通省)から引用

(<http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/roundabout/doc01.html>)

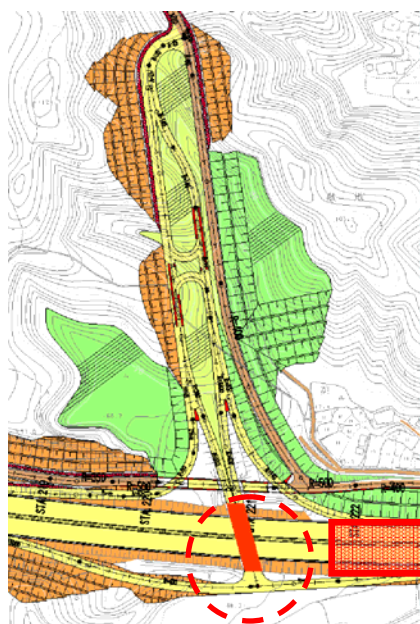


ラウンドアバウト導入効果



- 1 交差点に入る際、減速や一時停止をする必要があるため **事故（出合頭事故など）抑制につながる**
- 2 信号機が無く、停電時にも交差点機能が維持できる **災害に強い交差点**
- 3 信号機の設置費、維持管理費などの削減 **経済性に優れている**
- 4 欧米では、信号・無信号交差点から、ラウンドアバウトへ変更し **事故が減っています**

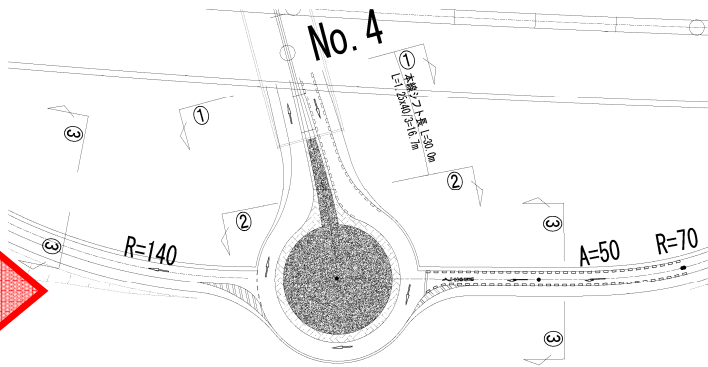
☀️ ラウンドアバウト詳細平面図 【丁字交差点から環状交差点（ラウンドアバウト）へ】



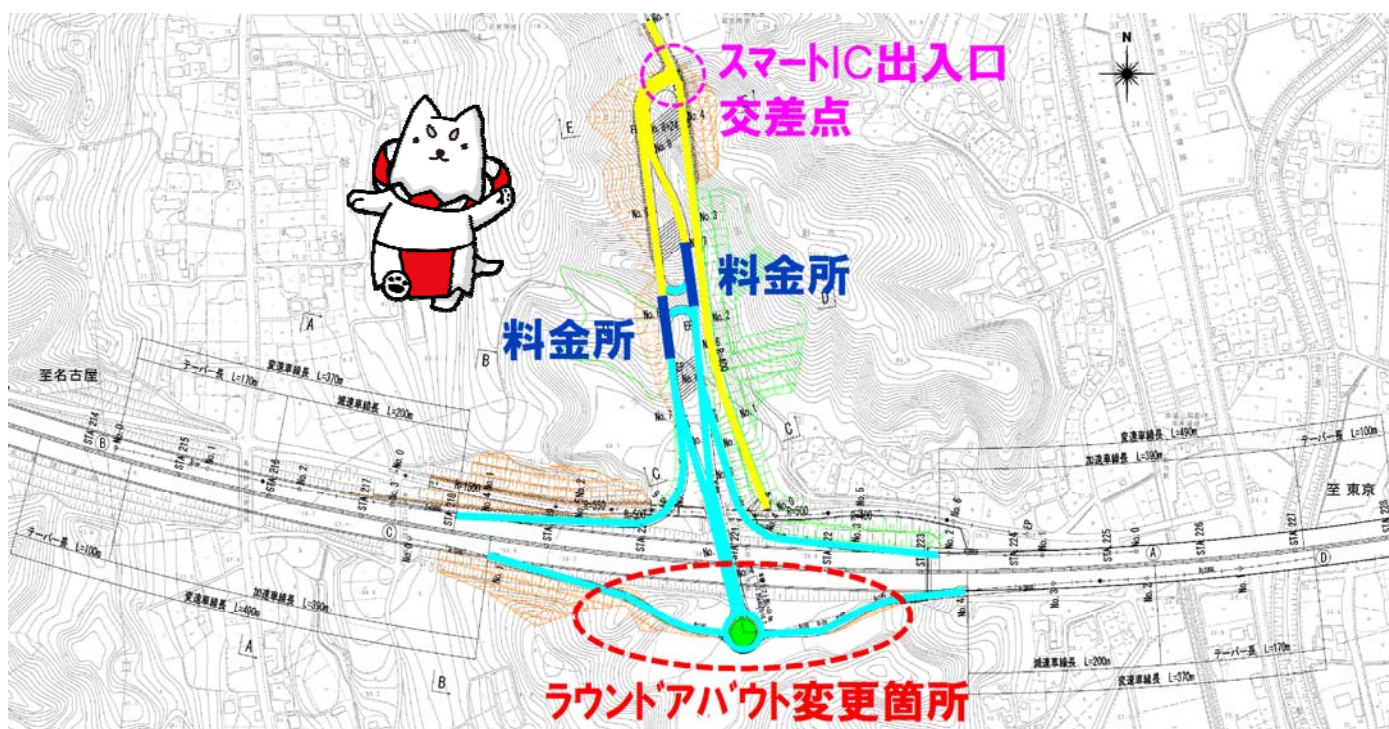
さらなる安全対策として

新磐田スマートIC 下り線側交差点を、環状交差点(ラウンドアバウト)へ変更します。

今後、NEXCO 中日本と共に測量・設計を行い、ラウンドアバウト導入に向けて進めていきます。



☀️ 新磐田スマートIC 計画平面図 変更（案） 【ラウンドアバウト】



☀️ お問い合わせ

スマートIC詳細情報については、下記へお問い合わせください。

磐田市都市整備課

TEL 0538-37-7174

FAX 0538-37-8690

スマートIC 詳細情報については、磐田市ホームページをご覧ください。
磐田市ホームページ内

スマートIC

検索

